

淀川水系河川整備計画の構成（たたき台）

※章立てや項目及び順序については現在検討中であり、今後変更することがあります。

1. 流域の概要

2. 現状の課題

（人と川とのつながり、河川環境、治水・防災、利水、利用、維持管理、関連施策 等）

3. 河川整備の方針と具体的な整備内容

- ・ 対象範囲と対象期間
- ・ P D C Aサイクルを考慮した計画の見直し
- ・ 人と川とのつながり
（情報の共有と公開、学識経験者・住民との連携・協働、自治体・関係省庁との連携の推進、河川レンジャー等の推進、住民参加プログラムの作成）
- ・ 河川環境
（連続性の確保、「川が川をつくる」ことを手伝うという考え方を念頭にワンドの再生等の河川環境の保全と再生、河川環境に係るモニタリングの実施、ソフトやハードによる河川やダム湖等の水質保全対策の実施、順応的管理の検討）
- ・ 治水・防災
（上下流のバランスを考えた治水対策の実施、ハード・ソフト両面にわたる治水対策の推進、総合的な土砂管理の推進、超過洪水を想定した危機管理体制の構築、超過洪水に対する流域全体でのリスク分担対策の実施、地震・津波対策の推進）
- ・ 利水
（水需要の見直しを踏まえた施設整備、既設ダムの効率的な運用の実施、水需要抑制のための施策の実施）
- ・ 利用
（「川でなければできない利用、川に活かされた利用」を基本とし、地域固有の歴史・文化を活かした利用の推進のための施策の実施、舟運の復活に向けた施策の実施、ダム水源地域ビジョンの推進）
- ・ 維持管理
- ・ 関連施策